

平成22年度
総 合 問 題
(生活科学科 食物栄養専攻)

9 : 3 0 ~ 1 1 : 0 0

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、問題冊子、解答用紙に手を触れてはいけません。
- 2 この問題冊子は8ページで、解答用紙は3枚あります。
- 3 試験開始の合図があったら、まずページ数、枚数を確認し（足りない場合は、手を挙げて監督者に知らせること）、全部の解答用紙に受験番号を記入してください。
- 4 試験中に、印刷の不鮮明な箇所やページの脱落などに気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 解答は、解答用紙の所定の欄に記入してください。
- 6 この問題冊子にある余白のページは、下書きなどに利用してかまいません。
- 7 試験終了後、問題冊子と受験票は持ち帰ってください。

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

【 省略 】

（アン・マッケロイ，パトリシア・タウンゼント著 丸井英二監訳『医療人類学
世界の健康問題を解き明かす』1995 年，大修館書店，pp.200～201）

注 ペラグラ：手，足，首，顔などに皮膚炎を起こし，舌炎，口内炎，腸炎のため食欲不振となり，下痢を併発する。また頭痛，めまい，錯乱状態などの神経症状を起こすこともある。

ゲール人：通常はアイルランド人のことを指す。

クレチン病：新生児期から甲状腺機能が不全の結果，発育不全（小人症）・無気力・無感覚・知能障害を生じる病気。

問1 文章中に記述されている食習慣の変化の事例に関して,変化が起こった地域または民族,原因となった食品,生じた病名等,原因について解答用紙に記入しなさい。

問2 下線部に関連して,第二次世界大戦後に生じた日本の伝統的食習慣の変化とその影響について 400 字以内で述べなさい。

2 次の資料 1, 2 を読んで、後の問いに答えなさい。

資料 1 「幼児のサプリメント利用に関する実態調査」

独立行政法人国立健康・栄養研究所は、2007 年 5 月から 9 月、青森、山形、茨城、栃木、千葉、埼玉、香川の 7 県の幼稚園・保育所 21 ヶ所に通う 6 歳までの幼児の保護者 2,125 人を対象に「幼児のサプリメント利用に関する実態調査」を行った。回答数は 1,533 人で、そのうち有効回答数は 1,516 人であった。

その結果、幼児の 15.0% (228 人) がなんらかのサプリメント利用の経験を持っていることがわかった。詳細は、「毎日利用」2.1% (32 人), 「たまに利用」7.0% (106 人), 「過去に利用」5.9% (90 人) である。

サプリメントを使用している幼児 228 人が、使用しているサプリメントの種類は「ビタミン」「ミネラル」67.5% (154 人), 「その他」32.5% (74 人) であった。使用目的は、「栄養補給」61.4% (140 人), 「健康増進」25.4% (58 人), 「病気予防」18.4% (42 人), 「体質改善」11.8% (27 人) などであった (回答は複数回答)。利用の際の相談相手には、「誰^{だれ}のアドバイスも受けていない」41.7% (95 人), 「友人・知人」19.7% (45 人), 「家族・親戚^{しんせき}」15.8% (36 人) が上位にあげられた (回答は複数回答)。

注 調査では、カプセル・錠剤・粉末・液体 (エキス抽出物) の形態のものを「サプリメント」と定義した。

(Sato Y, Yamagishi A, Hashimoto Y, Virgona N, Hoshiyama Y, Umegaki K.

Use of Dietary Supplements among Preschool Children in Japan,

J Nutr Sci Vitaminol, 55, pp.317~325, 2009 より作成)

資料2 「幼児の健康習慣調査」

2005年9月、東京都福祉保健局は、東京都内保育園・幼稚園の4歳児および5歳児クラスに通う幼児とその保護者1,482人を対象に「幼児の健康習慣調査」を行った（回収数1,254、回収率84.6%）。図1～3は結果の一部である。

（東京都ホームページ 東京都福祉保健局「幼児期からの健康習慣調査報告書」平成18年3月、
<http://www.metro.tokyo.jp/INET/CHOUASA/2006/05/60g5a100.htm>より）

図1 お子さんの食生活に関して、特に気をつけていることがありますか。（複数回答）

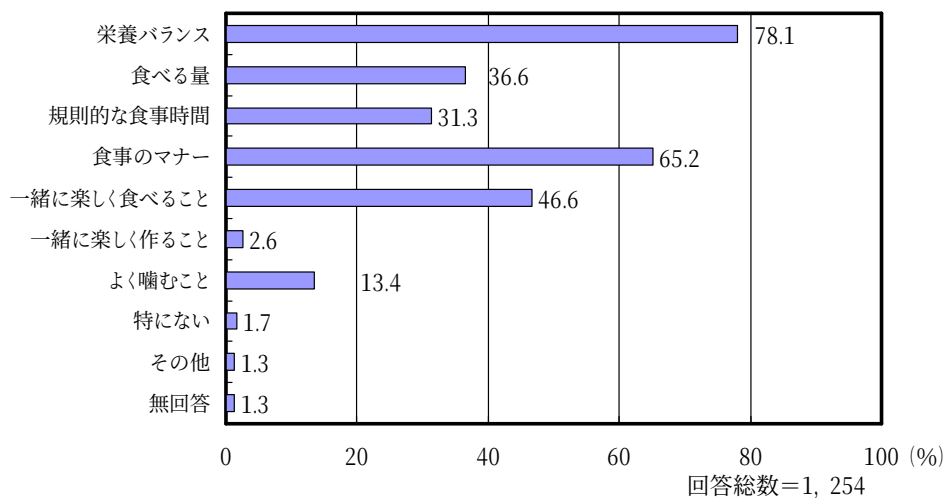
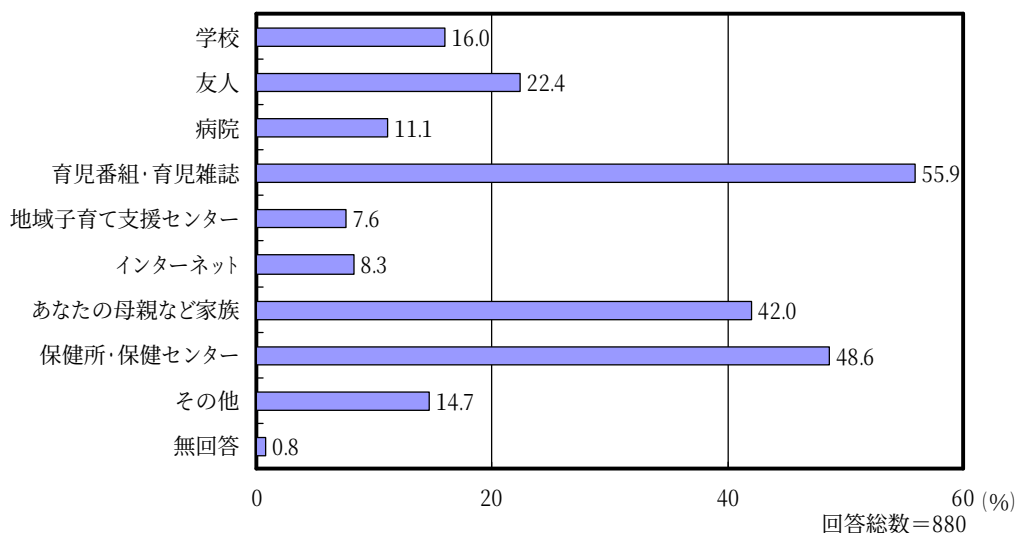
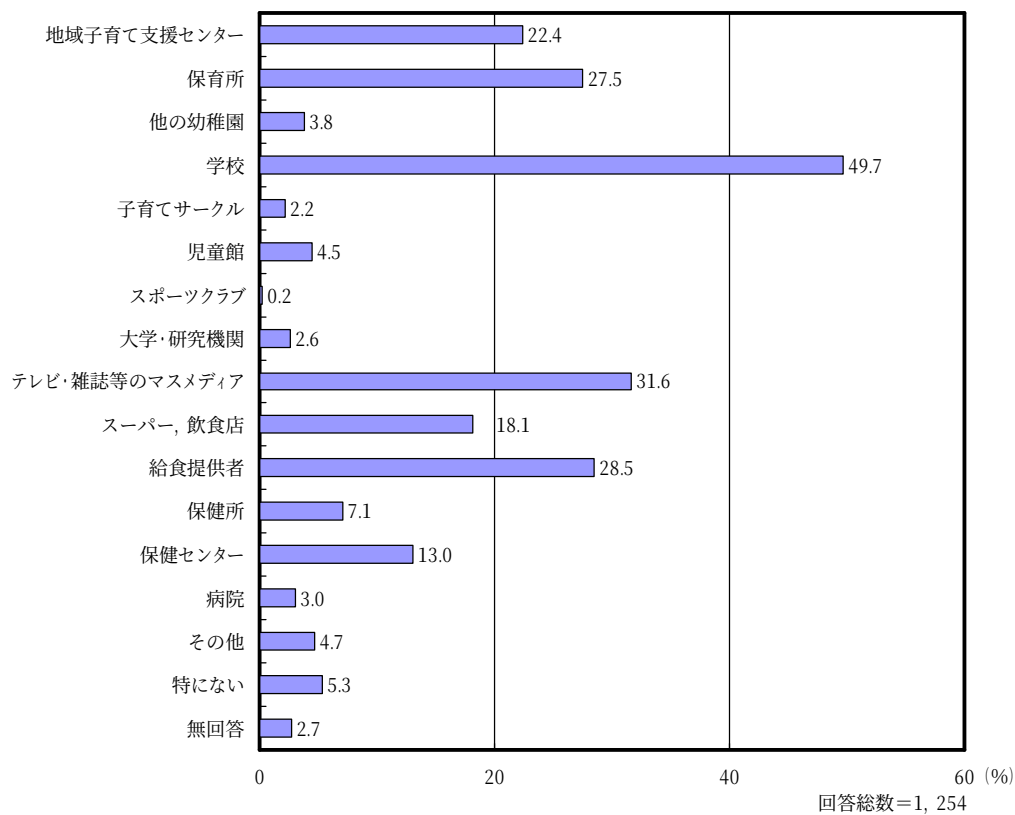


図2 幼児の食事について、どこで（誰から）学びましたか。（複数回答）



注 幼児の食事について「学ぶ機会があった」保護者が対象。

図3 お子さんが将来にわたり健康的な食習慣を身につけていくために、一緒に取り組んでいく必要があると思われるのは、どれですか。（複数回答）



問1 親が子どもにサプリメントを与えることの問題点について、150 字以内であなたの考えを述べなさい。

問2 安易にサプリメントを利用しないためにはどうしたらよいか、150 字以内であなたの考えを述べなさい。

問3 学校が子どもの食生活の改善に貢献している程度を踏まえ、学校栄養士・栄養教諭が果たすべき役割について、300 字以内であなたの考えを述べなさい。

